

河合町

ファシリティマネジメント～旧河合第三小学校利活用～



生涯学習ゾーン

多世代交流ゾーン

歴史文化ゾーン

貸し部屋ゾーン

サテライトオフィス

コワーキングスペース

テレワークコーナー

起業支援コーナー

1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 県北西部は、大阪のベッドタウンとして発展。河合町も西大和ニュータウンの発展と共に、成長路線を取ってきた。
- ② しかし、少子高齢化社会が避けられない現状で、成熟路線にシフトする必要がある。
- ③ コロナ禍で、リモートワーク、サテライトオフィスなどが脚光を浴びる中、本町でも、ベッドタウンとしての住環境を維持しつつ、新しい雇用の場や産業を創出し脱ベッドタウンを目指す。

2 取組の概要

- 河合町基本構想「河合愛AI構想」の三つの重点施策のひとつが、ファシリティマネジメント（公共施設再編）。
- そのうち、昨年3月末を持って閉校した、河合第三小学校跡地の利活用が喫緊の課題。現在、計画を策定中で、老朽化した中央公民館、中央体育館機能を移転（生涯学習ゾーン）するとともに、多世代交流ゾーンおよび歴史文化ゾーンに加え貸し部屋ゾーンを設ける予定。
- 貸し部屋ゾーンでは、高規格の通信機能を持たせたサテライトオフィスやコワーキングスペース、またテレワークコーナーや起業支援コーナーなどを検討中。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 昨年7月にファシリティマネジメント推進室を立ち上げ、どのような施設がふさわしいのか、民意を集めながら検討中。
- 多世代が交流し情報共有する中で起業のヒントが生まれ、新たな産業につながり、職住近接のまちづくりが進むことを期待。
- 令和3年度中に、基本設計・実施設計
令和4年度中の改修工事着手を目処にしている。

詳しくは 河合町ホームページ

http://www.town.kawai.nara.jp/mayor_room/kawaiAikousou/index.html